

令和8年度

運営に関する計画



令和8年4月

大阪市立今里小学校

大阪市立今里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の児童は、毎朝笑顔で活気に満ちた挨拶とともに登校し、休み時間には学年を越えて仲睦まじく過ごしている。こうした日常の光景こそが、学校が子どもたちにとって「安心できる居場所」である証左であり、本校教育の原点である。

この安心感をより強固なものとするため、本校では「いじめゼロ」を掲げ、人権意識の高揚と道德教育の充実に努めてきた。今後も、いじめや児童虐待を最重点課題と位置づけ、定期的な実態把握と組織的な早期対応を徹底する。こうした「安全・安心な基盤」の上に、変化の激しい社会を生き抜く力を育むべく、次の3つの重点目標（育てたい子ども像）を設定し児童の育成を推進する。

- ①自ら考え 進んで行動する子ども
- ②他人（ひと）の気持ちに寄りそえる 思いやり深い子ども
- ③いつも夢や目標を持ち めざすことを楽しめる子ども

これらの目標をめざすためには、児童が「自分には良さがある」と実感できる自己肯定感の醸成と、規則正しい生活習慣の確立が不可欠である。児童一人ひとりの心の充実と心身の健康を保持増進し、自己実現を支える土台を整えたい。この土台の上に、子どもの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と、他者と高め合う「協働的な学び」の実現をめざす。具体的には、対話を通した学習活動を充実させるとともに、本校の強みであるICT活用をさらに効果的に進め、未来を切り拓く資質・能力を養う。さらに、長崎県対馬市・鹿児島県大和村との「チーム今里小」によるオンライン交流や遠隔合同学習を継続し、地理的制約を越えた多様な視点に触れる学びを深めていく。

以上のような取組みを通じて、大阪市教育振興基本計画の最重要目標を達成し、市の基本理念を具現化していく。学校が安全で安心な場所であることを全ての根幹とし、児童が「学ぶこと、遊ぶことが楽しい」と日々実感できる学校運営に学校を挙げて邁進する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を95%とする。（令和7年度86.1%）
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%とする。（令和7年度86.4%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を50%とする。（令和7年度35.2%）
- ・令和11年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%とする。（令和7年度69.9%）

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和11年度において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数を、年間授業日の70%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く）（令和7年度年間平均54.1%）
- ・令和11年度において、教職員の働き方改革に関し、「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。（令和7年度22.5時間）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 (令和 7 年度 83.3%)
- ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%とする。 (令和 7 年度 86.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 78%とする。 (令和 7 年度 75.9%)
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 89%とする。
(令和 7 年度 87.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。 (令和 7 年度 82.0%)
- ・ 教職員の働き方改革に関し、「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 2 2 時間以下とする。 (令和 7 年度 22.5 時間)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立今里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（令和7年度83.3%） ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%とする。（令和7年度86.4%）	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安心・安全な教育の実現】 月1回のスクリーニングシート確認、学期に1回のいじめのアンケート調査を実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取り対応する。	
指標 ・いじめのアンケート調査を定期的（6月・11月・2月）に行い、認知したいじめ全てについて対応し改善する。 ・スクリーニングシートを活用し、気になる児童について早期対応を行う。	
取組内容②【基本的な方向1、安心・安全な教育の実現】 「学校安心ルール」をもとに、規範意識を育むためのプログラムを実施するなどして、ルールとマナーの大切さを知って守れるようにする。	
指標 ・児童とともに学校のきまりを確かめ、振り返りの場を設ける。 ・校内児童アンケートの「学校のきまりを守っている」の項目において肯定的な回答を前年度（89%）と同等を維持する。 ・きまりを守りにくい児童には、一人一人に寄り添った継続的な指導・支援を行い、保護者へもアプローチする。	
取組内容③【基本的な方向2、豊かなこころの育成】 年間指導計画に基づき、教材の活用や外部人材との連携をすすめ、平和学習、学級での課題をもとに道徳科および人権教育の授業を充実する。	
指標 ・道徳科および人権教育の取り組みの授業報告や体験的な学習を各学年1回は実施する。 ・人権学習の取り組みについて、校内実践報告会を実施する。	

取組内容④【基本的な方向２、豊かなこころの育成】 月別生活目標や、児童会の取り組みに「あいさつ」を位置づけ、学校の重点目標として指導を行い、場面や相手に応じたあいさつを自分からすすんで気持ちよくできるようにする。	
指標 ・学期に１回（５月・１１月・１月）以上の具体的な取り組みを実施する。 ・児童があいさつについて自己評価する場を設け、肯定的な評価が後期が前期を上回るようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立今里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%とする。（令和7年度75.9%） ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%とする。（令和7年度87.5%）	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・読書活動の日常化（全校一斉の読書タイム）や、個に応じた学習指導により、児童の学習意欲と基礎的基本的な学力の向上を図り成就感を持たせる。（専科指導、補充学習、短時間学習） ・タブレット端末で協働学習ツール（コラボノートや発表ノートなど）を活用して、互いの意見や考えを伝えあい、話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりするような授業展開を工夫する。	
指標 ・児童の実態に応じて読書の取り組み方を工夫し、児童アンケートの「朝の読書タイムや図書の時間・休み時間・家などで、1週間に1時間以上本を読んでいる。」の肯定的な回答の割合を維持もしくは向上させる。 ・校内児童アンケートで「友だちと話し合いながら学習を深めたり、広げたりしている」と最も思うと回答する割合を維持する。 ・校内児童アンケートの「授業や家庭学習でくりかえし学習し「わかった」「できた」と思ったことがある。（わかるまでくりかえし学習を頑張っている）」での肯定的な回答の割合を維持もしくは向上させる。	
取組内容②【基本的な方向5、健やかなからだの育成】 準備運動に「体づくり運動」の内容を継続的に取り入れながら、指導の工夫を行う。休憩時間に運動する機会を広げることで、体力づくりに取り組む。	
指標 ・「体づくり運動」や準備運動の指導具体例を共有し合う。 ・各学級や委員会活動で、休憩時間の運動遊びを計画し実施する。	

取組内容③【基本的な方向 5、健やかなからだの育成】 ていねいな手洗いをはじめ、健康な生活習慣やよい姿勢が身につけられるよう、児童の実態に即して継続的に指導を充実し、取り組みを発信して家庭への啓発を行う。（元気アップカードの活用）	
指標 ・児童の実態や課題に応じたテーマで学校保健委員会を開催し、取組内容を児童や保護者に知らせる。	
取組内容④【基本的な方向 5、健やかなからだの育成】 食育を通してよりよく「食べること」が健康につながることを指導し、健やかなからだづくりの基礎を培う。	
指標 ・日々の給食指導や年間計画に沿った栄養指導を実施し、取り組み内容をホームページ等で発信する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立今里小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える学習環境の充実】 ・ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(令和7年度82.0%) ・ 教職員の働き方改革に関し、「学校園における働き方改革アクションプラン」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月22時間以下とする。(令和7年度22.5時間)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 体験的な活動やICTを活用した学習を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの授業を実践し、情報活用力、論理的思考力の育成を図る。	
指標 ・ 校内児童アンケートのICTを活用して「友達と話し合いながら学習を深めている」についての肯定的な回答の割合を維持または向上させる。 ・ 児童がICTを活用する主体的対話的な授業を各学年で実践する。 ・ デジタルドリルや協働学習ツールを活用した授業を工夫する。 ・ 各学年で実施したチーム今里小の遠隔交流や体験的な学習活動を記録し、年間計画に位置付ける。(年間10回以上実施する)	
取組内容②【基本的な方向7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ 働き方改革の推進として、ゆとりの日を設定する。 ・ 教職員の研修会を計画・実施する。(授業研究会・討議会・講演会など) ・ 学校だよりの発行と学校ホームページの更新。	
指標 ・ 週に1回ゆとりの日を設定し実施する。 ・ 教職員の研修を充実させ、教職員の指導力や授業力などの資質の向上をめざす。(年間5回以上実施する) ・ 学校ホームページや学校だよりの発行などを通して、家庭・地域に学校の様子をわかりやすく知らせる。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

